

やあ！お元気ですか。

《編集・発行・問合せ先》

伊万里市ボランティア連絡協議会

伊万里市社会福祉協議会

電話 22-3931

当情報紙への感想・要望・ご意見、または各種ボランティアのご相談など、お気軽に上記へお寄せください。

新春
挨拶

謹賀新年 安心な福祉社会を求めて

伊万里市ボランティア連絡協議会
会長 松尾 清



20年以上前、勤務校の特色づくり策として、宗教教育で育成した「命を大切にし思いやりのある医療福祉の人材」を育てようと発起。

2ページ以降の内容

p.2.「市民図書館清掃」「平戸市ボラ協と交流会」

p.3.「伊万里こだま会」「第10回はばたけボランティア」

p.4.「社協のつぶやき」「ありがとう」

賀正



明けましておめでとうございます
2017年の元旦いかがお迎えでしょうか。
伊万里市ボランティア連絡協議会(ボラ連)は昭和59年(1984)2月発足当時13のグループや施設でしたが、現在は78のグループ・施設・団体に成長することができました。

ボランティア活動が全国的に活発化し定着したのは平成7年(1995)1月の阪神淡路大震災が契機といわれていますので、市ボラ連は県内でも先覚的な出発だったのです。

昭和40年代、日本の人口増大が叫ばれ、国民年金の財源は、増える若年労働者の税収拡大で補てん出来ると福祉拡充政策がとられました。

全国の私学関係者は、入学者数に影響する出生率や乳幼児の人口構成予想に敏感なので、その内少子高齢化時代が来ると予測していました。当然のことながら、予想が的中、30年ほど前に世間が慌てだしました。

昔「養老院」と呼ばれていたイメージの悪い高齢者施設が新しく生まれ変わる時代が到来する。そうした中、増える高齢者に不足する若年医療福祉従事者の問題が深刻になりつつありました。

当時県内高校には、3級ホームヘルパーの資格が取れる学科はあったが、新規発足するなら2級ヘルパーは取れないかと模索。県内初なので県の福祉課や総務学事課(当時、私学担当管轄)とあれこれ検討、カリキュラムの構成や人材、近隣での実習受け入れ施設の依頼など駆けずり回りました。

このようにして、宗教的素養をバックボーンとする医療福祉従事者を育てる「生活福祉コース」が発足。また、そのような基礎教育をもとに、上級学校に進学する者も出ました。

現在私は、映写ボラとして毎月5、6か所の高齢者福祉施設などで「映写会」を開いて巡回しています。その先々で、ここの卒業生が元気に活躍しているのに触れ、ある種の喜びを体感しています。

これからも「安心・安全のまちづくり」の一環として活動する伊万里市ボラ連へ、市民の皆様のご理解とご支援を心からお願いいたします。

回
覧

回覧版「やあ！お元気ですか」を個人的に欲しい方は、市社協か市の出先機関などにおいてあります。

ボラ連主催で 市民図書館 清掃活動 を行いました

11月19日（土）前夜の雨で、少々地盤が悪い状態でしたが、13のボランティアグループと個人ボランティア、図書館職員合わせて57名が図書館周辺の草払い、庭木の剪定、定例の池掃除を行いました。途中、高所作業中に濡れた靴底が滑り、梯子を踏み外す人があり、“ヒヤッ！”とする場面がありましたが、幸い怪我もなく、注意を払いながら続行しました。

特に、古伊万里ライオンズの方々は、毎月清掃活動をしていただいています。また、黒木建設（株）（26名）には、沢山の参加と、機械等を使って、手際よく作業し、廃棄する草木の運搬までしていただきました。多くの男性社員の中で颯爽と作業する女子社員に感想をいただきました。



黒木建設（株）のみなさん

黒木建設（株） 辻 美咲さん

今回の図書館清掃ボランティアには、「少しでも地域の方々の役に立てれば良いな」と思い参加しました。清掃活動は、伸びすぎた木や草を切って整えたり、落ち葉を集めたりしました。前日雨が降ったこともあって、落ち葉が地面に張り付いて取りづらかったり、処分する枝は50cm以下に切らなければいけなかったりと、色々大変な事がありました。しかし、皆の力で午前中に終わることが出来ました。最初は伸び放題の木に落ち葉だらけだった所が綺麗になって、来館する方たちも快適に利用してもらえんじゃないかと思います。

これからも地域の一員として、定期的にボランティア活動をしていくことで、皆様の役に立てればと思っています。

池もきれいに
しました



平戸市ボランティア協議会と伊万里市ボラ連の交流会

10月7日（金）平戸市ボランティア協議会との交流会を行いました。平戸市から14名（社協職員1名含む）、伊万里市からは、ボラ連と社協（職員2名）で13名が出席し、先ず、それぞれの観光名所や特産物などの紹介をし合い、その後ボランティアの活動内容と状況について紹介、質疑応答へという流れで進めました。

平戸市の場合、社協と一緒に年間予算を立て、各団体からの会費や赤い羽根共同募金・バザー益金等を活動資金としているそうです。

活動内容としては、伝統音楽・音訳・手話・観光・傾聴などでした。

平戸市から伊万里市のイベントに毎年ボランティアとして参加しているという方もいらっしゃいました。



伊万里市からは、伊万里焼や伊万里牛などをPRし、観光への呼びかけをしました。

伊万里市のボランティア活動は、県内でも活発な方だと思っていますが、これからも人に喜ばれる活動ができるよう、会員同士がまず理解し合い、和合を基に、興味を持って“たのしいボランティア”のルールに乗って脱線しないよう有意義な活動を続けていきたいですね。

（川内 真由美さん）



伊万里こだま会 30周年交流会

伊万里こだま会 金岡 恭子さん

伊万里こだま会は、おかげさまで30周年を迎えました。これまでご支援いただいた多くの方に感謝の気持ちを伝えたいと、11月15日に交流会を催しました。

目のご不自由なリスナーさん、社会福祉協議会の吉田事務局長、西田さん、堤さん、そして見事な琴を奏でて下さった T. S. S伊万里 古川眞弓さんと私共会員を合わせて20名の賑やかな会となりました。吉田局長はご挨拶の後、こだま会の歩みを紹介され、お祝いの言葉と共に身に余るお褒めの言葉をいただき感激しました。

リスナーさんの自己紹介の中で、「一人暮らしの私ですが、こだま会のテープの声を聞くと傍に居てくれている気持ちになります。この会に出くると親戚に会ったような気分です。」「30年もの長い間テープを聞かせてもらい、伊万里の今を知ることが出来ました。何はさておき出席してお礼を申し上げたい。送迎して下さる方にお世話をかけましたが、出かけてきました。」「初めの頃は、たどたどしく自信のない読み方でしたが、なんとこの頃は滑舌も良く、艶のある声になっています。テープが届くのが楽しく待ち遠しいです。」

今回初めてお会いした方、全国からテープを取り寄せて聞かれる程の耳の肥えた方など、皆さん張りのある声と笑顔が素敵でした。たくましく生活されているそのお姿に私共は、改めて勇気ももらいました。

短い時間でしたが、和気あいあいの会話が弾み笑い声に包まれたひとときでした。

琴の演奏に合わせて、皆で童謡を歌い「ふるさと」で、また会いましょうね と名残を惜しみつつお別れしました。

末次前会長が生憎出席出来ませんでした。こだま会にかかわって下さった多くの方に「ありがとうございました」の御礼の言葉を伝えたいと思います。



第10回はばたけ！ボランティア in 唐津（報告）

11月26日、県ボラ連主催の「第10回はばたけ！ボランティア in 唐津」が、唐津市浜玉町の「ひれふりホール」で開催されました。

オープニングでは、「大野大黒舞保存会」による、女性だけで、口説きに合わせてユニークに七福神が舞う大黒舞の披露後、「松原を守る会 田中敏夫氏」、「唐津虹の会 東郷文子氏・栗原順子氏」による活動事例発表がありました。



その後、「福祉・奉仕・ボランティア ～私にできる事から～ 《普遍的価値観の上に立って》」と題して、普恩寺 住職 金子謙三氏による講演があり、ボランティア活動を通しての支援の在り方やボランティアをする人が心がけなければならないこと、ボランティア活動が思わぬ形で二次的被害を与えるという側面もある等の話がありました。

ボランティアのあり方を「マザー・テレサ」『ブッダ 仏教』の言葉を引用して説明されました。

マザー・テレサがシスター達に言われた言葉「あなた達が出会う全ての人が、あなた達に出会う前よりも幸せな気持ちで別れていくようにしなさい」

このような気持ちでボランティアが行えれば素晴らしいなと思っています。（中島）

『お金では買えないものシリーズ②』

「感~~覚~~重力」

先日、テレビを見ていると、東京にあるうどん屋「めん吉」が取りあげられていました。そこでは、知的障がいのある2人の青年と、その親と一緒に働いていました。その店長はこう言ったのです。

「彼らは知的に障がいがあるだけで、魂には障がいがない。だから私は、彼らの魂と向き合っ~~て~~一緒に仕事をしている。」「彼らが生き生きと働いている姿を親に見て欲しい。」

私は、この店長の言葉に感動したのです。また、これには続きがあって、区長さんが区役所に相談したところ、少ないながらも区役所から助成金が出るようになり、そのことにも感動しました。

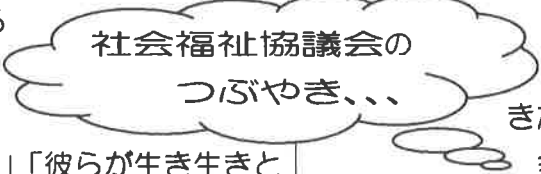
8月にブラジルで開催された、4年に一度の“オリンピック”と“パラリンピック”では、皆さんの

応援が届いたかのように、メダルラッシュでした。

そして、多くの感動をもらいました。

それでは、ボランティア活動で得る「感動」はどういうものでしょう。きっと、「ありがとう」の一言やうれしそうな笑顔をもらった時や一緒に何かを成し遂げた（なすとげた）時に感じるものだと思います。

さらに、この「感動」を誰かと分かち合えた時に強く感じるすることができます。



つまり、この「感動」は、共感できた時には自分だけのものではなく、多くの人へ伝わり、広がっていくのです。「感動」は、「感じて」「動く」と書きます。

「感じる」は、人間が持っている五感を通じて伝わってくるものです。また「動く」は、その五感を通じて伝わった感覚によって、体や心が「動く」様子なのです。
(平成16年11月号 改掲)

地域福祉活動コーディネーター 西田 晃一郎



♡ありがとうございました♡

使用済み・未使用切手、書き損じはがき、プルタブ、飲料水ボトルキャップ、コーヒーのクーポン券、使い古したタオル、ほか（11月1日～11月30日受付分）



- 池田 吉子 (南波多町)
- 石竹 幸子 (松島町)
- 岩永 栄子 (大坪町)
- 浦 和代 (東山代町)
- 大串 忠経 (船屋町)
- 金子シマ子 (立花町)
- 川久保公子 (山代町)
- 木寺 (脇田町)
- 栗田 輝子 (立花町)
- 小柳シヅ子 (立花町)
- 下川 副子 (大川町)
- 田口伊都子 (大川町)
- 田口智映巳 (大川町)
- 立川ヨシ子 (木須町)
- 立石 純生 (東山代町)
- 田中 直記 (大坪町)
- 辻丸 直子 (福岡市)
- 富永 弘子 (大川内町)
- 檜崎 祐希 (立花町)
- 馬場 義行 (松浦町)
- 本田 (脇田町)
- 松永三枝子 (立花町)
- 道山 哲郎 (二里町)
- 安永みさ子 (立花町)

- 安並 弥生 (脇田町)
- 山内 純子 (立花町)
- 匿名 9名
- いまりの里 (大坪町)
- エレナ伊万里 (二里町)
- 川井産業[株] (新天町)
- 楠久津公民館 (山代町)
- クリーンの環 (脇田町)
- さわやかトリム
- 食堂 龍宮園 (浜町)
- 立花保育園 (立花町)
- 波多津保育園 (波多津町)
- 南波多保育園 (南波多町)
- 鳴石婦人部 (山代町)
- 長浜区 (東山代町)
- パクス[株] (大坪町)
- はたち会 (大川内町)
- 堀田病院 (立花町)
- 明善寺 (二里町)
- 麦の会
- Link (大坪町)
- 笑おう会 (大川内町)
- 東山代公民館 (東山代町)
- 南波多公民館 (南波多町)

- 伊万里カトリック幼稚園 (二里町)
- [株]インズパークス (新天町)
- [株]九州公善社 (松島町)
- [株]フタバ九州 (大川町)
- [株]山口工務店 (大川町)
- グループホームやすらぎの丘 (大坪町)
- 国際ソロプチミスト伊万里 (伊万里町)
- [司]ハート・トラスト (二里町)
- シトー会トラピスト修道院 (二里町)
- スクレッティング[株] (山代町)
- 立花台3丁目健寿会 (立花町)
- 立町とびうめ会 (立町)
- 東部デイサービスセンターユートピア (大川町)
- 波多津地区社協 (波多津町)
- B. COU. COU 浦川亜矢 (新天町)
- [有]鳥羽電気工事社 (南波多町)
- 南波多町府招上女性部 (南波多町)
- レストラン ヴァンサンク (二里町)
- 伊万里市母子寡婦福祉連合会 (東山代町)
- 伊万里商工会議所女性会 (新天町)
- 伊万里市役所人権・同和对策課
- 伊万里市役所福祉課社会福祉係
- 伊万里市役所福祉課福祉総務係
- 伊万里市役所福祉課保育係

【敬称略、順不同】